

総括質問

今定例会では、11人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。

詳しい質疑内容は、会議録又はインターネット中継をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

議長ダイアリー

平塚市議会議長
府川 正明



議長の出席した主な会議などをお知らせします。(2月~4月)

- 2月2日 湘南地方市議会議長会
- 2月7日 都市行政問題研究会第105回総会
- 3月4日 神奈川県立子ども自立生活支援センター竣工式
- 3月18日 平塚市少年少女マラソン大会、平塚市港こども園開所式
- 3月28日 神奈川県市議会議長会監事会
- 4月25日 関東市議会議長会第83回定期総会
- 4月28日 神奈川県市議会議長会第198回定例会

清風クラブ

「夢ある未来」平塚を創る

片倉 章博 議員



平塚市中心市街地活性化

問 中心市街地における新たな取り組みを検討しているのか。

都市整備部長 中心市街地は都市マスタープランで、ひらつかの顔づくりとして位置付け、その中で平塚駅西口周辺地区や見附台周辺地区の再整備を位置付けている。見附台周辺地区は、市民センターの建て替えを中心とした再開発をすることで改訂整備方針を示している。

問 平塚商工会議所が新体制になり、相模線の延伸を進めているが、都市マスタープランの中で、付帯していく状況が検討されないか、見解を伺う。

市長 延伸は本市にとっても有効である。経済界から

一市内事業者育成

問 神奈川県のいのち貢献度指名競争入札があり、社会貢献という認識で企業の貢献に対しての総合評価の点数制度がある。他市で導入された事例も多くあるが、見解を伺う。

総務部長 本市は、インセンティブ発注の取り組みの中で、事業者を評価する一つのポイントとして、工事に際して地域貢献実績を評価している。

問 市内事業者の育成について、市内に本店があれば1点加点するなど、総合評価方式の入札を増やすことで事業者の育成につながる。災害時の協定や通常の社会貢献を総合評価に加点

上平塚花水川橋線

問 一部廃止された上平塚

するのはどうか。

市長 平成29年度からは実際にイクボス宣言をしたところに配点をしたり、災害の協力事業をしているところにインセンティブを与える形を含めた視点で進めていきたい。



子育て世代から「選ばれるまち」へ

須藤 量久 議員

問 子育て世代から選ば

れるまちを目指し、小児医療費助成対象を中学校3年生までに拡大、育休退園の廃止、子ども・子育て基金の創設、エアコン設置やマンパワの充実による学習環境の整備、県内初となるイクボス宣言など、さまざまな施策を実現してきた。これまでの成果と評価について伺う。

健康・子ども部長 成果の

一つとして、平成27年には市内への転入数が市外への転出数を上回る転入超過となり、総人口の下げ止まりの兆しが見えた。また、年齢別では、未就学児の転入超過数が伸びている。市外の子育て世代から選ばれる具体的な動きが見られるため、本市への注目度は相当に高くなっていると考

大久保公園プール

問 今後の大久保公園の考

え方について伺う。

都市整備部長 プール再開には大きな課題があり、大変厳しい状況と認識している。今後は、ワークショップでもらった意見を含め、地域のレクリエーションや防災面の活用など、地域の方と意見交換をしながら、公園の一部リニューアルについて検討していきたい。

耐震化の促進

問 今後30年以内に首都直

に努めていく。

問 中学校給食の実現に向けて、市長の見解を伺う。

市長 本市での子育てや教育などの魅力化を図る中で、中学校給食は大きな要因になると思う。検討していくべきと考えている。

問 待機児童対策として、特に入所できなかった家庭へのフォローが大切であると考えているが、どのように取り組むのか。

健康・子ども部長 各家庭の事情に合わせて、希望園以外で通園可能な保育所な



公立幼稚園の見直しについて

黒部 栄三 議員

問 平成29年1月に、5園ある公立幼稚園のうち4園を廃園や認定こども園として整備する方向性を出した。32年4月にさくら・金目幼稚園が廃園の予定である。公立幼稚園は、子育てについて多くの役割を担ってきた。これまでに培った人材やノウハウを生かし、子育て世帯の多い場所に、子育て支援に係る複合的な施設を作るべきと考えるが、見解を伺う。

下型地震や神奈川県西部地震などの大規模地震の切迫性が指摘されている。対策として既存建築物の耐震診断を実施し、必要に応じた耐震補強工事を行うことが重要である。特に、高齢者世帯への補助制度を充実させるべきではないか。

まちづくり政策部長 市が新たにアクションプログラムを作成し、実施することで、国の補助金が交付されることとなっており、国庫補助を得られるよう努めていく。また、職員が対象の木造住宅全戸を回り、直接説明していく。高齢者の理解を得ながら、耐震補強が進むよう取り組んでいく。

運転免許返納の促進策

問 高齢者の交通事故が多

ど、利用できるサービスが見つけられるよう丁寧な対応に努めている。また、本市には親子で利用できる保育園の開放保育や子育て支援センター、つどいの広場など、さまざまな子育て支援の施設がある。これらの利用も含め、今後も家庭の状況に寄り添い、相談に対応していく。

▼このほかの質問 都市農業振興基本計画・平塚版の策定 防災協力農地制度の導入 有害鳥獣対策 シ

く報道されている。運転免許証の自主返納についての見解を伺う。

福祉部長 平塚警察署によると、28年の返納数は前年に比べて大幅に増加しており、要請があれば返納の促進に向けて協力していく。一方で、車に代わる高齢者の移動手段として、公共交通を更に利用しやすくするため、ノンステップバスを導入などに取り組む。また、公共交通が不便な地区においては、地域からの要請に応じ、バス事業者や地域の方と相談しながら環境の構築に取り組んでいく。

▼このほかの質問 小学生の芸術鑑賞 小学校でのタブレットの活用 狭あい地区の防災体制のさらなる強化 真田特定土地区画整理事業

清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議員



数田 俊樹 議員



諸伏 清児 議員



坂間 正昭 議員